



1



2



3

「僕が目をあけてゐる時は、即絵をかいてゐる時だ。」

没後90年

萬 Yorozu 鐵五郎展

Press
Release

報道用資料
2017年5月

YOROZU Tetsugoro 1885-1927

2017年7月1日(土) - 9月3日(日)

* 会期中、一部展示替を行います。

前期:7月1日 30日 / 後期:8月1日 9月3日

神奈川県立近代美術館 葉山

個性派と呼ばれる芸術家を多数輩出した大正時代において、ひときわ特異な才能を輝かせた画家・萬鐵五郎(よろず てつごろう)。本展は20年ぶりの大規模な回顧展です。

岩手県土沢(現在の花巻市)に生まれ、茅ヶ崎で没した萬鐵五郎は、41年という決して長くはない生涯において、西洋絵画と東洋の伝統を融合させた独自の世界を作り上げました。本展では代表的な油彩画、水彩画を中心に、その制作のプロセスを示す素描や資料のほか、版画やこれまであまり注目されてこなかった水墨画に焦点を当てています。総出品点数約400点によって、萬が目指した表現の本質に迫るとともに、その稀にみる才能と洞察力に恵まれた画家の創作の原動力を探ります。

出品総点数(予定):429点 <油彩[131],水彩[49],素描[86],版画[23],水墨[73],資料[67]>



4



5



6



7



8



9

【関連企画】

すべて申込不要、参加無料。ただし展示室で行われる企画は、本展の当日観覧券が必要です。

巡回館担当学芸員によるトーク

講師：平澤広（萬鉄五郎記念美術館学芸員）
7月2日（日）午後2時 - 3時 展示室

館長によるギャラリートーク

「萬鉄五郎 / その創造の秘密」
7月16日（日）午後2時 - 2時30分 展示室

担当学芸員によるギャラリートーク

「雲煙飛動の人 / 萬鉄五郎」
7月30日（日）、8月5日（土）、8月27日（日）
各日午後2時 - 2時30分 展示室

近代美術館入門講座

「萬鉄五郎と湘南」
講師：長門佐季（当館主任学芸員） 共催：葉山町
7月15日（土）午前10時 - 11時 葉山町福祉文化会館 大会議室

子どものためのワークショップ

本展に合わせて製作した「わくわくゆったりグッズ」を使ったワークショップを行います。
7月21日（金）、8月4日（金）、8月18日（金）
各日午前11時 - 12時 美術館中庭ほか

「わくわくゆったりグッズ」プレゼント

夏休み期間中の7月15日（土） - 9月3日（日）にご来館の18歳以下の方に、夏の美術館がもっと楽しくなるクーポン付ノベルティグッズを差し上げます。
（なくなり次第終了。開館日のみの配布となります）

【主催】神奈川県立近代美術館、東京新聞

【開館時間】午前9時30分 - 午後5時（入館は午後4時30分まで）

【休館日】月曜日（7月17日は開館）

【観覧料】一般1,000（900）円 / 20歳未満・学生850（750）円 / 65歳以上500円 / 高校生100円

*（ ）内は20名以上の団体料金です。

*中学生以下と障害者手帳等をお持ちの方（および介助者原則1名）は無料です。その他の割引につきましてはお問い合わせください。

*ファミリー・コミュニケーションの日（毎月第1日曜日：今回は7月2日、8月6日、9月3日）は、18歳未満のお子様連れのご家族は割引料金（65歳以上の方を除く）でご観覧いただけます。なお、8月6日（日）は「会話を楽しむ日」とします。小さなお子様連れの方も遠慮なくご観覧ください。

【作品キャプション】

- （ ）内は展示期間
- 1 〈裸体美人〉 1912年 油彩、画布 東京国立近代美術館蔵 重要文化財
 - 2 〈雲のある自画像〉 1912-13年頃 油彩、画布 岩手県立美術館蔵
 - 3 〈水着姿〉 1926年 油彩、画布 岩手県立美術館蔵
 - 4 〈松林〉 1922年頃 紙本彩色 萬鉄五郎記念美術館蔵（後期）
 - 5 〈かなり声の風景〉 1918年 油彩、画布 山形美術館寄託
 - 6 〈川辺の石垣〉 1914-16年頃 紙本墨画 萬鉄五郎記念美術館蔵（前期）
 - 7 〈日の出〉 1919年頃 紙本彩色 萬鉄五郎記念美術館蔵（前期）
 - 8 〈仁丹とガス灯〉 1912年頃 油彩、板 岩手県立美術館蔵
 - 9 〈ガス灯〉 1913年頃 油彩、画布 横須賀美術館蔵

【お問合せ先】

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色2208-1

Tel.046-875-2800 / Fax.046-875-2968

メール info.kinbi.474@pref.kanagawa.jp

公式ツイッターアカウント @KanagawaMoMA

美術館ウェブサイト <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

展覧会担当：長門、高嶋

広報担当：土居、鈴木、高原